

1. これまでの成果

- 愛知県認知症施策推進条例に基づく愛知県認知症施策推進計画の策定により、総合的・計画的に認知症施策全体を推進
- 先進的・重点的取組を位置づけた2期にわたるアクションプランにより、あいちオレンジタウン構想に一定の成果
 - ・ 国立長寿医療研究センターの新棟整備による機能強化
 - ・ アクションプランに基づく各モデル事業の実施、全県展開
 - ・ Aichi-Startup戦略と連携した産学官連携の新たな共同研究 等



2. 2024年度以降の方向性

あいちオレンジタウン構想については、第2期アクションプランの計画期間終了をもって（2023年度末）、一旦区切りとする。



- ・ 構想の理念を継承し、「愛知県認知症施策推進計画」と「アクションプラン」が一体となった「あいちオレンジタウン推進計画」を策定し、全県で、総合的・計画的に施策を展開していく。

「あいちオレンジタウン推進計画」では、これまでのアクションプランの取組・成果をふまえた重点的な取組を「重点プロジェクト」と位置づけ、戦略的に施策を推進していく。 1

3. あいちオレンジタウン推進期計画の体系について

第8期高齢者福祉保健医療計画（2021～2023）

愛知県認知症施策推進計画

概要（認知症高齢者数、国や県の取組状況）

1. 普及啓発・本人発信支援

2. 予防

3. 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

4. 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援、災害時等における支援

5. 研究開発

※国の大綱の5つの柱を踏まえ設定

あいちオレンジタウン構想

第2期アクションプラン（2021～2023）

基本理念

地域で暮らし、学び、働く人々が、「認知症に理解の深いまちづくり」に「じぶんごと」として取り組む社会の実現

アクションプラン

1. 本人発信支援

2. 意思決定支援

3. 地域人材の活用

4. 企業連携

5. 若年性認知症の人への支援

6. 災害時等における支援

7. 研究開発

第9期愛知県高齢者福祉保健医療計画（2024～2026）

愛知県認知症施策推進計画（あいちオレンジタウン推進計画）

概要・経緯

- ・あいちオレンジタウン構想の理念を継承
- ・「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」及び「愛知県認知症施策推進条例」に基づく計画として位置づけ

1. 普及啓発・本人発信支援

2. 予防

3. 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

4. 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援、災害時等における支援

5. 研究成果の社会実装の促進

重点プロジェクト

I. 本人・家族支援

II. 多職種連携の推進

III. 地域における支え合いの推進

IV. 若年性認知症の人への支援

V. 産学官連携の推進

○ 本計画は、あいちオレンジタウン構想の理念を継承するとともに、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」及び「愛知県認知症施策推進条例」に基づく計画として位置づけている。

○ 本計画では、アクションプランの取組・成果や新たな課題等を踏まえた重点的な取組を「重点プロジェクト」として位置づけている。

○ 本計画は、「第9期愛知県高齢者福祉保健医療計画」（計画期間：2024 - 2026年度）における認知症施策に係る記載部分に位置づけている。